

■After 建築名称 下段:英語名	INAXライブミュージアム 窯のある広場・資料館			
建築用途	大分類 展示施設	小分類 博物館		
改修設計者	日置拓人+南の島工房一級建築士事務所			URL
所在地	愛知県常滑市栄町1-130			Google Map
改修年	2019年			After 登録有形文化財に指定されている煙突と上屋
建築規模	地上2階建、木造。延床面積512.76㎡			撮影者提供者 撮影:桐原武志 2021年
掲載書誌	新建築2020年1月号		概要 after 煙突を鉄筋コンクリートで再構築すると共に、資料館として窯や土管づくりの迫力を伝える施設として再生された。	
賞・選定	・国登録有形文化財 ・近代化産業遺産			
資料・その他	URL			
■Before 建築名称	土管製造工場→資料館			概要 before 1921に建設され約50年間稼働していた土管製造工場を1986年に資料館として公開
建築用途	大分類 生産施設→展示施設	小分類		
■写真 Before 改修前	After	釜を跨ぐように架けられた上屋の木造架構を身近で見ることが出来る	After 土管が焼かれていた窯の内部:ピクチャーマッピングにより炎が上がる様子が再現されている	
				
撮影者提供者	撮影者 撮影:桐原武志 2021年	撮影者提供者 撮影:桐原武志 2021年		
■リノベーション内容	キーワード 補強、遺構、文化・産業遺産	内容 資料館・・・「両面焚倒焰式角窯」と呼ばれる煉瓦造りの窯を見せるだけでなく、窯の内部をプロジェクション映像で炎の動きを投影することで、炎と土がどの様に土管になっていくかを体験することができる施設となっている。白いスクリーンに投影された映像ではなく、土管焼成の釉薬が染みこんだ煉瓦窯に投影される映像は実感があり、既存のものを今に活かすリノベーションならではの手法と言える。建屋2階の床が抜かれ1階～小屋組を見る事や窯の全体を把握する事が出来る。 煙突・・・煙突は耐震性の向上の解体し内部を鉄筋コンクリート造とし番号付けをして取り外した煉瓦を元の位置に積み直し目地が開いていた痕跡も継承されている。		
■備考	No169			
■作成者 氏名/所属	桐原武志/Free JIA再生部会		作成協力	